



税金がなくなった日本

大田区立大森第四中学校 三年 田中 はや

日々私の身近で使われている税金。正直私はある動画に出会うまでは、税金に対しあまり感謝をしていなかった。なぜなら税金はあって当たり前、と思っていたからだ。十四年間生きてきた中で税金に対しての考えが変化したのは夏休みのことだ。いつも通りスマホで動画を見ようとしたとき、ある動画のタイトルが目に入ってきた。「税金がなくなったら日本はどうなる?」という動画だった。気になったので見てみると予想以上に驚いた。まず一つ目は警察がいなくなってしまう。日本は治安が良い国ではあるが刑法犯の認知件数は二年連続で増加してきている。その中で警察がいなくなってしまうと無法地帯になり、平穏な生活は確保できなくなるだろう。

二つ目は救急車・消防車の数が今より減ってしまう。そんな世の中になったら一番恐れるのは地震だ。日本の大地震発生回数は世界で四位にランクしている。もし、大地震が起こったとき怪我人はもちろん、家事だっておこるだろう。そんな一刻を争う状況で消防車や救急車が来なかったら人々はパニックを起すだろう。

三つ目はすべての学校が有料になる。私が今通っている中学校も有料になってしまう。家計が苦しかった場合、費用が払えず学校に通えなく

なってしまう可能性もある。そうすると学力低下にもつながってしまう。四つ目は公園、図書館が有料になってしまう。受験生の私にとって図書館が有料になると自習する場所がなくなり非常に困る。また、たまに息抜きでいく公園も有料になると行く頻度は減りストレスがたまる原因につながる。

五つ目は道路が十分に整備されずポロポロになってしまう。道路は定期的にメンテナンスのための工事が必要であり、その費用は税金によって賄われている。従って税金がなくなると工事ができなくなり道路はポロポロになる。道路に陥没があると自転車や歩くさいにつまり歩き大怪我をするかもしれない。また、輸送に長い時間がかかったり配達できないといった問題がおこり経済にも大きな影響を与えるだろう。

たった数分の動画で、ここまで印象に残ったのは初めてだった。税金があることによって老後の安定した生活や健康を保つことができる。私がかつて払っていた消費税が誰かの為になっていたら嬉しく思う。税金はみんなを互いに支え合い、共に豊かでよりよい社会を作りあげていくために必要なものであり、公平に、分かち合っていくことが大切だと思った。そして税金は身の回りの沢山の所で活躍している。テレビなどは税金は人々の生活を苦しめる悪者のように言われていることもある。けれど私にとって税金という存在は「日本を守ってくれているヒーロー」のようなものだ。そんな税金とこれからの日本の未来も共に守っていきたい。税金は人々の生活を支えているという事を心に刻み生活していきたい。